

## ヒートアイランド対策技術分野（空冷室外機から発生する顕熱抑制技術） の進捗状況及び今後の予定について

### 1. 平成17年度の進捗状況

#### (1) ワーキンググループ（WG）開催経緯等

17年 4月20日	実証試験要領（第2版）の公表
4月20日～5月18日	実証機関の公募
5月25日	平成17年度第1回WG開催
5月30日	実証機関選定の公表
6月14日～7月13日	実証機関において実証対象技術の募集
7月22日～8月12日	実証機関において実証対象技術の追加募集
9月22日	実証対象技術選定の公表
18年 2月17日	平成17年度第2回WG開催
3月 3日	実証試験結果報告書承認の公表

（WG検討員名簿は資料1-5-2 参照）

#### (2) 実証試験状況等

実証機関より提出のあった実証試験結果報告書について、第2回WGにおける議論等を踏まえ、3月3日付で承認・公表。

#### 実証機関：大阪府

中核となる地方環境研究所名：大阪府環境情報センター

##### 【実証済み技術：2技術】

1. 実証番号：050 - 0501

空調室外機用水噴霧器（エコロータリージェット）

/ 環境技術開発者：因幡電機産業株式会社

2. 実証番号：050 - 0502

ビル用マルチ冷媒サブクールシステム

/ 環境技術開発者：高砂熱学工業株式会社

## 2. 今後の予定

WG等で議論した結果、本分野の今後の方向性については以下のとおりまとめられた。

現行の技術分野（空冷室外機からの顕熱抑制技術）の休止

- ・ 現行の技術分野（空冷室外機からの顕熱抑制技術）については、2年間で大体の技術が実証を終えたと考えられることから、手数料項目を含む実証試験要領（第3版）を策定した上で、実証機関及び技術開発者のニーズが一定程度蓄積するまで実証を休止する。
- ・ 「空冷室外機からの顕熱抑制技術」についてのニーズについては継続的に調査し、必要に応じ、手数料徴収体制において再開する。

新たな対象技術への拡大

- ・ ヒートアイランド対策分野は引き続き重要であることから、「空冷室外機からの顕熱抑制技術」以外の新たな対象技術について実証を行う。
- ・ 新たな対象技術の具体的な検討は今後行うが、高反射性・遮熱塗料、日射遮蔽フィルム等を中心に検討中。

現行の技術分野（空冷室外機からの顕熱抑制技術）について、手数料項目を盛り込んだ実証試験要領（第3版）を年度内に策定予定。

平成18年4月頃、新たな対象技術を検討する第1回WGを開催予定。

平成17年度環境技術実証モデル事業検討会  
ヒートアイランド対策技術ワーキンググループ 検討員名簿

足永 靖信	独立行政法人 建築研究所環境研究グループ 上席研究員
木内 俊明	特定非営利活動法人耐震総合安全機構 理事
久保 忠義	環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課 参事
佐土原 聡	横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授
下田 吉之	大阪大学大学院工学系研究科 助教授
森川 泰成	大成建設株式会社建築技術研究所 ニューフロンティア技術開発室 室長